

サンビオティック農業通信

<http://www.sunbiotic.com>

イチゴ栽培 成り疲れ対策に菌力アップが効果的です！

長崎県ではイチゴは「さちのか」が主流ですが、冬季の成り疲れ（株疲れ）を起こしやすく、全体としても収量がやや少なくなりがちな品種です。そこでサンビオティック農業資材を活用した、成り疲れ対策が効果を上げています。菌力アップを使用している長崎県のイチゴ農家の橋本さんは、発根が良いので成り疲れが少ないと好評です。成り疲れ対策には、やはり微生物の働きが活発な土壌を作り、発根を促すことがキーポイントのようです。



菌力アップの土壌改善ポイント

- 好気性微生物が土壌に空気（酸素）を供給
- 土壌団粒化を促進する
- 微生物の分泌物には発根促進効果がある
- 有機物や肥料を分解して肥料を効果的に吸わせる（EC値の改善にも）
- 有機物が豊富なら分解熱で地温アップ
- 放線菌が病害菌やセンチュウの増殖を阻止

指導員からは、生育が良いので追肥はいらないと言われました！



長崎県イチゴ農家の橋本さん
「菌力アップで育苗がとても順調でした。着花も旺盛です！」と喜びの笑顔



使えばわかる！ココをチェック！



株立ち良く葉が上向き
葉が上を向きやや巻いてきます。新葉の展開が良く、勢いのある草勢が維持できます。



葉にテリがでてくる
葉のワックス層が発達してテリが出てきます。その結果、ダニやウドンコモ減ります。



発根良く疲れしない
発根が良く細根が発達します。肥料吸収が良く、成り疲れしにくい体力を生み出します。

夏野菜の準備 育苗期の根張りがポイントです！



これから播種・育苗をする作物も多いですね。スイカ、メロン、南瓜、なす、トマト、ゴーヤーなどなど。やはり苗半作と言われるように、育苗に全力を注いでいる農家の方も多いかと思えます。やはり、根がしっかりと張り、太い茎が立ち上がってガッチリと葉に勢いのある苗を目指したいものです。特に発根には、培土選びから発根促進剤までこだわっているかたも多いことでしょう。

育苗期、定植期には、特に「**菌力アップ**」をおすすめします！菌力アップは**発根促進**が大変強力です。**根がしっかりと張り理想的な苗作りに大きな力**を発揮します。

ゴーヤーのM秀品が3割増収の大成功！

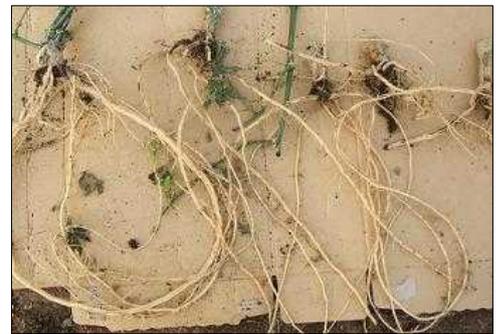
昨年から、鹿児島で本格的に試験を行っているゴーヤーの途中結果が出てきました。ゴーヤーは、ウリ科の植物でネコブセンチュウの被害を大変受けやすい作物です。鹿児島県で公的試験として土壌改良資材「菌力アップ」とアミノ酸液肥「糖力アップ」、土作りリン酸・カルシウム肥料「鈴成（すずなり）」を使用したゴーヤーの収量アップ試験を行いました。

目的は、菌力アップで土作りと土壌改善を行い、ネコブセンチュウの増殖しにくい環境を作りつつ、効果的な有機肥料の施肥により収量を上げるための基準作りです。昨年の9月から正式な圃場試験に入ったのですが、収穫後半で、**収量（Mサイズ秀品）比で対象区と比べて3割増収を達成**していました。大成功とっていい成果でした。比較対象区は、これも微生物を活用した農法ですが、ここまで大きな差が出たことは驚く成果です。

そして、先日試験区と対象区の掘り取り比較を行ったところ、さらに驚きの結果が確認できました！右写真を見て分かるように、サンビオティック試験区は健全な発根が、その収量を支えていたことが証明されました。試験区もネコブが多少見られましたが、全体としてきれいでした。また、通常はネコブがついた株は黄化して枯れてゆくのですが、試験区ではネコブがついてもまた新しい発根があって、最後まで収穫ができていました。発根が全ての原動力ですから、サンビオティックによる土作り技術の発展に大きな一歩になりました。



対象区(一般栽培)



試験区(サンビオティック栽培)

書籍のご紹介「有機栽培の肥料と堆肥 つくり方・使い方 - 小祝政明の実践講座1 -



おすすめ書籍のご紹介をします。有機農業の大家である「小祝塾（こいわいじゅく）」で有名な小祝政明先生の新刊が1月出版されました。有機栽培をされない方でも、大変実用的な内容です。特に肥料や微生物の選び方、考え方が分かりやすく書いてあり、ぜひ皆さんにも読んでいただきたい内容です。

農業にはいろいろな考え方と実践の仕方がありますので、一概に最良の方法は言えませんが、理論的な枠組みが技術のベースにもなるものですね。晴耕雨読ではありませんが、お休みの日にじっくり読んでみるのもいいかもしれませんね。

（有用微生物の1つとして弊社商品が紹介されています。p 84）



編集者より 巻末ご挨拶



ゴーヤーの試験は、新年早々のいいニュースになりました。今年は、皆さんが安全で美味しい農産物を作るのに、サンビオティック資材で力強く応援できればいいなあ、と思います。皆さんも、いいニュースがあったらぜひ私たちに教えてください。